

メタサーフェス反射板測定システム

■システム概要

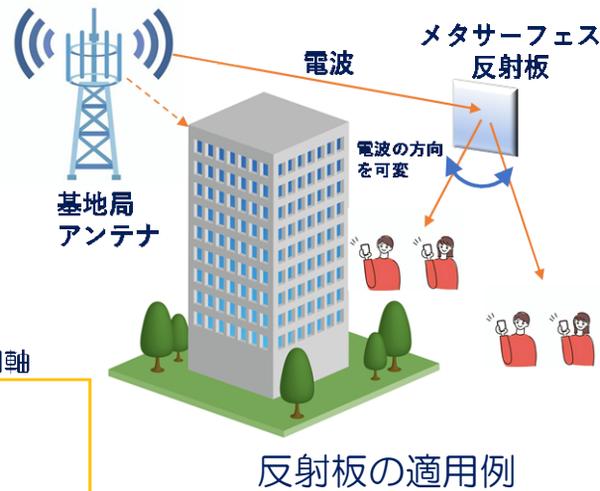
5G通信エリア拡大の一手法として、電波の方向を自在にかえる事が可能なメタサーフェス反射板(RIS)の利用が検討されてます。その反射板の評価方法として、RCS(Radio Cross Section)法が利用されておりますが、大型の電波暗室が必要となる等課題がありました。

7Gaaでは、独自平面波合成により、部屋や測定物サイズで制限されない測定システムを提供致します。

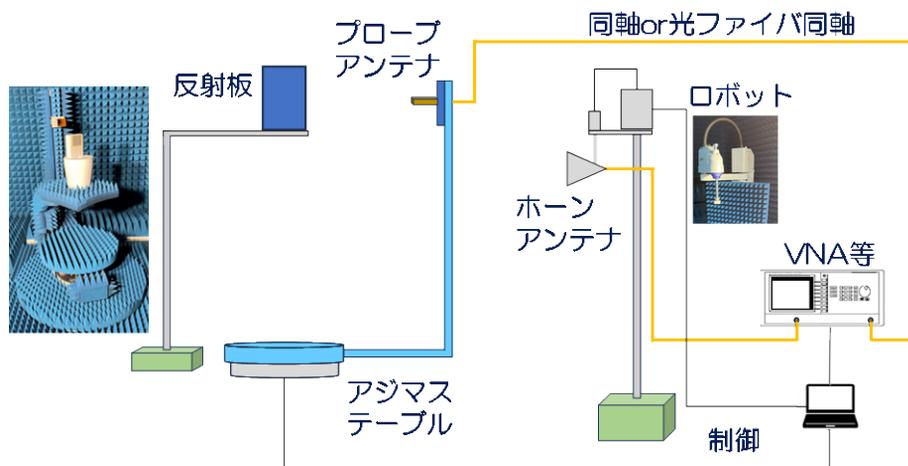
■特徴

- ◆狭い電波暗室でも測定可能
- ◆測定精度の選択で高速測定可能
- ◆大型サンプル¹⁾でも測定可能

1)ホーンアンテナ-反射板距離によります



反射板の適用例



システム構成例

	RCS-2D	RCS-3D
測定サンプルサイズ	<90mm (28 GHz)	≥90mm (28 GHz)
受信プローブアンテナ走査方式	円筒走査	円筒走査
送信ホーンアンテナ走査方式	円周走査	円筒走査
測定角度範囲	-160~+160deg	
出力データ	遠方界RCS	

※周波数28GHz、ホーンアンテナ-反射板距離1.5mの場合の仕様例

お問合せ：7Gaa株式会社

☎ : 029-819-2174 e-mail : info@7gaa.jp